



5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える人と人との「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介していきます。

宝泉地区 宝町青年部

Takara Generation Circle



宝町青年部は令和6年度に結成され、宝町在住者を中心とした21才～60才以下の男女27名で活動しています。メンバーの仕事やプライベートを尊重しながら、自治会行事が世代を超えた懇親の場になるよう、楽しみながら真剣に取り組んでいます。

宝町青年部令和6年度の活動



コロナ禍後、桜の季節に提灯の取り付けを再開しました。



コロナ禍が明けて5年ぶりに夏祭りが開催されました。



餅つき会は、青年部長のアイディアで開催されました。



青年部長

たかだ よういち

高田 洋市 さん

高田さんは20年以上宝町に住んでいて、過去に育成会長をしていました。**宝町の自治会行事の中心的人材**となっていて、新しい行事も高田さんのアイディアで開催されました。**宝町の区長さんからもとても信頼されています。**



みやづ たけし

宮津 壮志 さん

コロナ禍後のスポレク祭の綱引きに出場するため、宮津さんが**宝町と同級生に声をかけたことがきっかけで青年部が結成されました。**今後は自治会と協力してイベントをしていきたいと考えているそうです。青年部のTシャツは宮津さんがデザインしたものです。



さいとう ひろみ

齋藤 裕后 さん

齋藤さんは、宝町区長代理・自治会会員・交通指導員を務めています。親子ほどの年の差がある**自治会と青年部の両役員の橋渡しをするような役目が出来たら、**と思い青年部に入りました。青年部の活動はPTA役員より気楽に活動できているそうです。本業は音楽講師で、自宅でピアノや箏を教えています。



あらい しんいち

新井 慎一 さん

新井さんは、仕事以外にコミュニティがあり、**仲間がいることは、防災の面から見ても安心につながると**感じているそうです。親同士が楽しく集っている姿を子どもたちにも見せて、宝町を将来帰ってきたくなるような場所にしたいと思っているそうです。

■チェックポイント■

宝町青年部は、「強制しない」という若い世代らしさを持ちながらも、子育て世代のメンバーや子どもたちに、地域のつながりの大切さを伝えています。楽しみながら活動をし、自然と地域づくりがされています。



↑つながる通信
バックナンバー